

スペース 三つのデザイン賞受賞 室内公園 B i V i P A R K

商空間をプロデュースするスペース（東京都中央区、佐々木靖浩社長）は、2023年11月にオープンした札幌市

のB i V i新さっぽろで、同社が企画・設計施工を手掛けた室内公園「B i V i P A R K」が優れた空間を創出したとして、「日本空間デザイン賞2024」「第43回デザイン賞（2024）」「第18回キッズデザイン賞」の三つのデザイン賞を受賞したと発表した。

B i V i新さっぽろは、市営地下鉄東西線新さっぽろ駅に直結する都市型複合商業施設。同社は季節を問わずに緑を感じられる憩いの場とし

緑豊かな憩いの場に（撮影：ナカサンドパートナーズ梅津聡）



て、室内公園をプロデュースした。

B i V i P A R Kのロゴをかたどった二つのオブジェには道産の木材・石材を使い、地元らしさを表現した。館内の柱や壁面を「キャンパス」としてアートを展開する「B i V i A R T P R O J E C T」を提案し、複数の地元アーティストが参画した。

B i V i新さっぽろは、大和ハウス工業、大和リースのほか、病院、大学など6者が新さっぽろ地区で開発を進めた複合開発プロジェクト「マールク新さっぽろ」の一環として建設した。

設計はドーコン、施工は大成建設・宮坂建設工業JVが担当した。

